

平成 21 年度
大田区自然観察路「川と干潟のみち」等の
生物・植物調査報告書

概要版

	調査項目	調査時期
1	植物・植生調査	平成 21 年 6 月～平成 22 年 2 月 春季：6 月（水生生物のみ 7 月） 夏季：8 月 秋季：11 月 冬季：2 月
2	昆虫類調査（クモ類含む）	
3	鳥類調査	
4	哺乳類・爬虫類・両生類調査	
5	陸産貝類調査	
6	土壌生物調査	
7	水生生物調査（魚類含む）	

大田区環境清掃部環境保全課

平成 21 年度 大田区自然観察路「川と干潟のみち」等の生物・植物調査結果概要

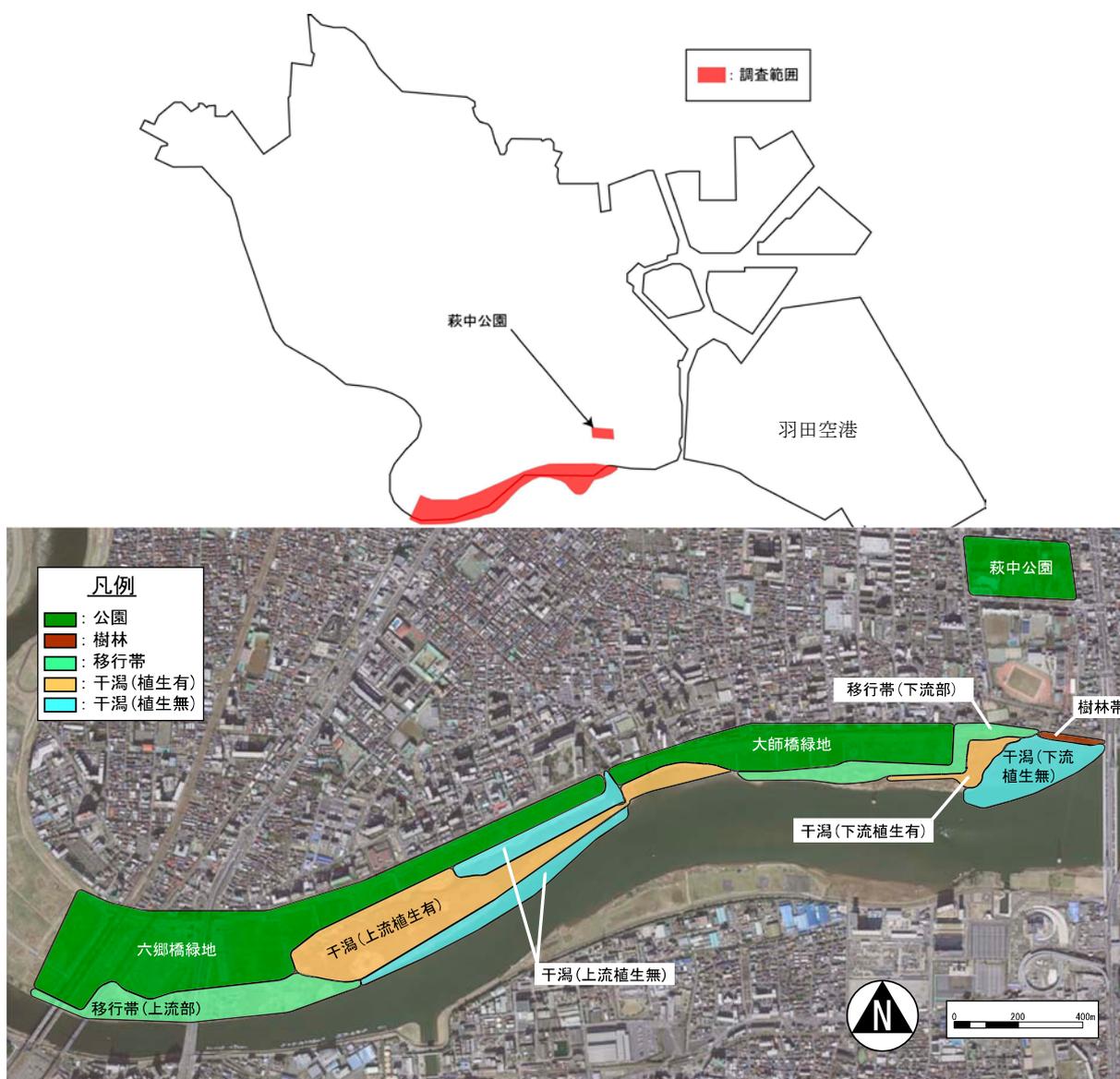
1 目的

多摩川自然観察路を中心とした多摩川河川敷の生物について調査を実施し、生物相の状況を把握することにより、区民等が自然観察を行う際の資料及び、自然環境や環境保全施策の基礎として利用することを目的とした。

2 調査範囲

大田区内多摩川河川敷（大師橋上流～JR 東海道線河川橋）及び萩中公園とした。

3 調査対象



4 調査結果

4.1 植物・植生調査

(1) 結果概要

植物・植生調査で確認された種は、4季合わせて87科316種であった。分類群別にみると、シダ植物は2科2種、裸子植物は4科5種、双子葉類離弁花類が52科157種、双子葉類合弁花類が17科85種、単子葉類が12科67種であった。

調査年月日 春季 平成21年6月20日
 夏季 平成21年8月22日
 秋季 平成21年11月29日
 冬季 平成22年2月6日

分類群			調査全体		季節別種数			
			科数	種数	春	夏	秋	冬
シダ植物			2	2	1	2	1	0
種子植物	裸子植物		4	5	5	5	5	5
	被子植物	双子葉類 離弁花類	52	157	135	126	114	88
		合弁花類	17	85	66	65	49	40
		単子葉類	12	67	54	47	39	23
合計			87	316	261	245	208	156
帰化植物			-	76	65	54	36	25
植栽種・逸出種			-	89	82	76	71	67
帰化率※			33.5%		36.3%	32.0%	26.3%	28.1%

※帰化率は全体の種数から植栽種と逸出種を除いた種数に占める帰化植物の割合

(2) 重要種

植物・植生調査で確認された重要種は、環境省 RL で準絶滅危惧 (NT) に指定されているカワヂシャ等6種であった。なお、環境省 RL で絶滅危惧 I B 類 (EN) に指定されているシロヤマブキ、及び準絶滅危惧 (NT) に指定されているシランが萩中公園で確認されたが植栽であった。

番号	科名	種名	選定根拠			
			1	2	3	4
1	バラ	シロヤマブキ*			EN	
2	ゴマノハグサ	カワヂシャ			NT	
3	イネ	ミノゴメ				C
4		ミノボロ				C
5		アイアシ				B
6	カヤツリグサ	シオクグ				C
7		エゾウキヤガラ				C
8	ラン	シラン*			NT	

*植栽種

注) 選定根拠

- 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づき指定される天然記念物及び特別天然記念物。または、都道府県及び市町村が条例により指定する天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)に基づき指定される国内希少動植物種
- 「環境省レッドリスト 維管束植物(環境省:2007)」に記載された種
 EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 I A 類、EN: 絶滅危惧 I B 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- 「東京都の保護上重要な野生生物種—1998年版—(東京都環境保全局)」に記載された種(東部地区)
 - 絶滅の危機に瀕している種
 環境庁 RDB (1991年発行の環境庁(当時)版レッドデータブック)の「絶滅危惧種(絶滅危惧 I 類)」に相当する種
 - 絶滅の危機が増大している種
 環境庁 RDB の「危急種(絶滅危惧 II 類)」に相当する種
 - 生息環境の変化により A ランクや B ランクへの移行が危惧される種
 環境庁 RDB の「希少種(準絶滅危惧)」に相当する種
 - 野生で絶滅と判断される種・ここ50年程観察例のない種
 - 生息域が限定されていたり孤立しており、地域レベルで考慮すると絶滅の危機が増大している種(地域限定種)

(2) 重要種

昆虫類調査で確認された重要種は、東京都 RDB で C ランクに指定されているアオモンイトトンボ、クロスジギンヤンマ及びクマゼミの 3 種であった。

番号	科名	種名	選定根拠			
			1	2	3	4
1	イトトンボ	アオモンイトトンボ				C
2	ヤンマ	クロスジギンヤンマ				C
3	セミ	クマゼミ				C

注)

- 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づき指定される天然記念物及び特別天然記念物。または、都道府県及び市町村が条例により指定する天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)に基づき指定される国内希少動植物種
- 「環境省レッドリスト 昆虫類(環境省:2007)」及び「環境省レッドリスト クモ形類多足類等(環境省:2006)」に記載された種
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- 「東京都の保護上重要な野生生物種—1998年版—(東京都環境保全局)」に記載された種(区部)
 - 絶滅の危機に瀕している種
環境庁RDBの「絶滅危惧種(絶滅危惧Ⅰ類)」に相当する種
 - 絶滅の危機が増大している種
環境庁RDBの「危急種(絶滅危惧Ⅱ類)」に相当する種
 - 生息環境の変化によりAランクやBランクへの移行が危惧される種
環境庁RDBの「希少種(準絶滅危惧)」に相当する種
 - 野生で絶滅と判断される種・ここ50年程観察例のない種
 - 生息域が限定されていたり孤立しており、地域レベルで考慮すると絶滅の危機が増大している種(地域限定種)

(3) 外来種

昆虫類調査では外来種(外来生物法で特定外来生物及び要注意外来生物に指定されている種)は確認されなかった。

(2) 重要種

鳥類調査で確認された重要種は、環境省 RL で VU (絶滅危惧Ⅱ類) に指定されているコアジサシ、アカアシシギ及びセイタカシギ等 8 種であった。

番号	科名	種名	選定根拠			
			1	2	3	4
1	カイツブリ	カンムリカイツブリ				C
2	サギ	ダイサギ				C
3	タカ	トビ				C
4	ハヤブサ	チョウゲンボウ				C
5	カモメ	コアジサシ			VU	C
6	シギ	アカアシシギ			VU	
7		セイタカシギ			VU	C
8	ウグイス	ウグイス				C

注)

1. 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づき指定される天然記念物及び特別天然記念物。または、都道府県及び市町村が条例により指定する天然記念物
2. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)に基づき指定される国内希少動植物種
3. 「環境省レッドリスト 鳥類(環境省:2006)」に記載された種
EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
4. 「東京都の保護上重要な野生生物種－1998年版－(東京都環境保全局)」に記載された種(区部)
 - A 絶滅の危機に瀕している種
環境庁RDBの「絶滅危惧種(絶滅危惧Ⅰ類)」に相当する種
 - B 絶滅の危機が増大している種
環境庁RDBの「危急種(絶滅危惧Ⅱ類)」に相当する種
 - C 生息環境の変化によりAランクやBランクへの移行が危惧される種
環境庁RDBの「希少種(準絶滅危惧)」に相当する種
 - D 野生で絶滅と判断される種・ここ50年程観察例のない種
 - E p 生息域が限定されていたり孤立しており、地域レベルで考慮すると絶滅の危機が増大している種(地域限定種)

(3) 外来種

鳥類調査では(外来生物法で特定外来生物及び要注意外来生物に指定されている種)外来種は確認されなかった。

(3) 外来種

水生生物調査で確認された外来種は、要注意外来生物に指定されているコウロエンカワヒバリガイ及びイガイダマシの2種であった。

No.	科名	種名	選定根拠	
			1	2
1	イガイ	コウロエンカワヒバリガイ		(2)
2	カワホトトギス	イガイダマシ		(2)

注)

1. 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により、特定外来生物に指定されている生物
2. 「要注意外来生物リスト」に記載されている生物
 - (1) 被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物
 - (2) 被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物
 - (3) 選定の対象とならないが注意喚起が必要な外来生物（他法令の規制対象種）
 - (4) 別途総合的な取組みを進める外来生物（緑化植物）